



発行所
一般財団法人滋賀県遺族会
滋賀県大津市におの浜4丁目2-34
滋賀県遺族会館
電話 (077)522-7227
FAX (077)522-7233
発行責任者
滋賀県遺族会会長
大長 弥宗治

理事会・評議員会

大長弥宗治会長統投を承認

滋賀県遺族会は、5月20日、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、理事会・評議員会を開催せずに書面決議により、大長弥宗治会長の統投の承認とともに新任役員を選出した。(2面に副会長挨拶、3面に滋賀県遺族会組織図・役員名簿)

書面決議では、令和2年度の活動方針・事業計画等が承認された。
今年度は役員改選期にあたり、副会長、部長、副部長、

委員長、副委員長などの役員がそれぞれ選出された。特筆すべきは、孫世代の中川真澄氏が女性部会担当の副会長に選出されたことだ。今後

の活躍を大いに期待したい。今期2期目の就任となる大長会長のメッセージと副会長5氏から抱負が寄せられた。また、長岡功事務局長が定

年退職し、新事務局長(常務理事)に森野愛子氏が選出された。財政難から事務局は3人体制から2人体制となった。(広報 川合良雄)

皆様からの一般賛助金は 次世代育成資金に充当します 引き続きご協力をお願いいたします



滋賀県遺族会会長
大長 弥宗治

まず、ただいま世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスにより、多くの皆様が被害に遭われました。心からお見舞い申し上げます。

さて、私儀、この度、第219回理事会において、全会一致で2期目の一般財団法人滋賀県遺族会会長にご推挙いただきました。今後、令和4年5月までの任期2年間で高年齢ではありますが、私なりに精一杯頑張りたいと思っております。理事・評議員の方々をはじめ、遺族会員並びに

関係者の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。さて、過去2年間では、長い間懸案となっていました滋賀県知事からの戦没者に対する慰霊品が、滋賀県主催の戦没者追悼式参加者に配布されました。

また、8月15日の日本政府主催の全国戦没者追悼式に、戦没者1柱に公費負担で1回しか参列が認められていなかった案件も、令和2年度から遺児を含めても1回公費負担で参列できるようになりました。関係者のご尽力の賜物でございます。心からお礼申し上げます。

また、岸田孝一前会長の時に議決をいただきました会費の値上げにつきまして、令和元年4月に実施させていただきました。その中でも特にお願いさせていただき、滋賀県遺族会賛助会員規程第1条第3項の一般賛助金1口5千円(1口以上)につきまして、多くの会員の皆様からご協力をいただきました。総額534万9千円を財政調整基金規程に基づき、次世代育成資金として積み立てさせていただきました。引き続きご協力をお願いいたします。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国の緊急事態宣言が発令されました。関係者で、新しい常務理事兼事務局局長として、森野愛子様を推薦させていただきます。先般の理事・評議員会にて全会一致でご承認いただきました。

財政の厳しさが増す中ですので、今年度から事務局は2人体制とさせていただきます。何かとご不便をおかけすることとは存じますが、何卒皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、国の緊急事態宣言が発令されました。関係者で、新しい常務理事兼事務局局長として、森野愛子様を推薦させていただきます。先般の理事・評議員会にて全会一致でご承認いただきました。

令和2年度一般賛助金募集のお願い

〈表1〉令和元年度一般賛助金
令和2年3月31日現在

郡市町名	金額
大津市	350,000
高島市	597,500
草津市	310,000
守山市	333,500
栗東市	115,000
野洲市	252,000
湖南市	0
甲賀市	415,000
近江八幡市	0
東近江市	1,062,000
蒲生郡(日野町)	100,000
蒲生郡(竜王町)	105,000
愛知郡	215,000
彦根市	580,000
長浜市	30,000
米原市	634,000
犬上郡(豊郷町)	85,000
犬上郡(甲良町)	35,000
犬上郡(多賀町)	95,000
県議会議員等	35,000
合計	5,349,000

平素は滋賀県遺族会活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。令和元年度一般賛助金の募集において、多くの会員の皆様にご賛同をいただき誠にありがとうございました。ご賛同いただきました一

般賛助金は1157人、534万9千円でございます(表1)。この一般賛助金は、財政調整基金規程に基づき、次世代活動資金(表3)として積立をし、今後の次世代の育成に活用させていただきます。

一般賛助金のお願いは、3カ年計画(表2)となっております。令和2年度一般賛助金も引き続き募集させていただきますので、ご賛同賜りたくよろしく申し上げます。

滋賀県遺族会会長
大長 弥宗治

〈表2〉

一般財団法人滋賀県遺族会賛助会員規程(抜粋)
第1条(3) 一般賛助金は、一口5,000円(一口以上)をこの法人の趣旨に賛同する人から募集するものとする。
第2項 実施期間は、平成31年4月1日から平成34年3月31日までの間、毎年実施する。
財政調整基金規程(抜粋)
(目的)
1. この規程は、一般財団法人滋賀県遺族会(以下「遺族会」という)の財政基盤を確立するとともに、一般財団法人滋賀県遺族会定款に定める(目的)及び(事業)を将来にわたり永続的に事業を継続する財源に充てるための財政調整基金について、その積立、取りくずし、保管・運用等について定める。

コロナ禍 遺族会活動を直撃 事業の中止相次ぐ

昨年6月13日から15日に予定の沖繩「近江の塔」平和祈念戦没者追悼式も中止が決まりました。また、毎年6月23日に実施されている「沖繩平和祈願慰霊大行進」も今年度は中止が決定しました。緊急事態宣言は解除されませんが、今後「第2波」も懸念されており、先行きが見通せない状況だ。(広報 川合良雄)



〈表3〉 財政調整基金積立金調書(第5条関係)

令和2年3月31日現在 (単位:円)

項目	年度当初	当年度増減額		年度末残高	年度末未繰入額	計	備考
	積立額	令和元年度積立額	令和元年度取崩額	令和元年度末残高	令和2年度中繰入予定額		
	a	b	c	(a+b)-c=d	e	d+e=f	年度末未繰入額は令和2年度の補正予算で処理
財政調整基金	0	3,737,000	0	3,737,000	1,612,000	5,349,000	

副会長挨拶

これからの遺族会活動 に対する思い



この度の役員改選により、図らずも総括副会長という

要職を命じられ、その責任の重さを日々感じているところです。新型コロナウイルス感染症の流行で、全国に緊急事態宣言が発令されるなか、各種の会議が中止になり皆様にお会いする機会もありませんが、就任にあたっての挨拶とともに私の思いの一端を述べさせていただきます。

遺族会の足下には、高齢化や諸事情等による退会に伴う会員、会費の減少や後継者問題、遺族会組織の活動を維持していくための財政問題、遺族会館の耐震化問題等々課題が多く、私たちは今更以上喫緊の課題として取り組まなければなりません。

総括副会長 角野 彰夫

を結成した「今検討委員会を立ち上げて検討している」という声を聞き、焦りを感じたことを記憶しています。

当時、本会の場恵美子元女性部担当副会長・日本遺族会女性部担当に相談し、「次世代組織化特別委員会」の設置を正副会長会議で提案して理事会で承認をいただき、具体的・本格的に滋賀県においても青年部組織化のスタートとなりました。

まずは「戦没者の孫・ひ孫の実態調査」から始め、議論百出、喧々譁々の連続で大変でしたが、お陰様で全国8番目の青年部の組織化が達成できました。これも皆様の協力、ご理解によるものと改めてお礼申し上げます。

青年部と協力して後継者の育成を

副会長 森田 久隆



今回の改選により、引き続き副会長（青年部担当）に再任されました。皆様のご指導、ご支援をよろしく申し上げます。

戦後75年が経過し、戦没者の両親はもとより、妻や兄弟姉妹、肉親のほとんどが亡くなられました。幼かった私たち遺児も平均80歳を超える年齢になりました。戦争を知らない世代の人たちが8割を超えている今、あの思まわしい惨禍が忘れ去られようとしています。

私たちは、機会ある毎に戦争の悲惨さ、人の命の尊さ、平和の大切さを訴えてきました。しかし、実際に戦争の悲しい思いを経験されていない世代の人たちに理解してもら

たが、お陰様で全国8番目の青年部の組織化が達成できました。これも皆様の協力、ご理解によるものと改めてお礼申し上げます。

年部の女性にどのように伝えていくのか、青年部と女性部の一体化も含めて後継者問題を議論・検討していく必要があるのではないのでしょうか。そして、戦没者の妻の思いをしっかりと青年部に引き継ぎ、新しい遺族会の在り方を考えなければならぬと思います。

向上、そして英霊の顕彰であり、75年という長い年月の経過とともに事業推進の考え方、価値観、解釈といったものはその時代に合ったものとして変わっていくものだと思います。皆様方のご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

英霊に尊崇と感謝を

副会長 井上 亮一



この度2期目として、理事会のご推挙により副会長に就任いたしました。会員の

高齢化や世代交代が年々進み、事業の継承は会員の減少に伴い財政的にも大変困難な時代を迎えております。

状態が8月を迎えられるか分りませんが、一つだけ言えることは、遺族会をはじめとする多くの人々の必死の努力で守られてきた平和な社会をこれからも維持するために、私たちが遺族が担う役割は重いということだと思います。

次世代への継承を活動の基本に

副会長 渡邊 茂雄



このたび、一般財団法人滋賀県遺族会のおおきくお力添えをいただき、この苦境を乗り越えたいと思っております。今後とも皆様のご協力をよろしくお願

いいたします。

命のつながり

副会長 中川 真澄



日ごろより遺族会に開わり、先輩方から深く学ばせていただいていることに心より感謝申し上げます。またこの

度、理事会の同意を賜り副会長の重責を担わせていただくことになりました。およそこの大任に当たるほどの器量も才覚もない私ですが、どうぞよろしくご指導の程お願い申し上げます。

いる中、貴重なお一人おひとりとの別れを惜しみつつ、その不在は今後に向けての憂いと一抹の心細さにつながります。遺族会においては長きにわたる、営々として会の活動発展に半截どころか人生をかけて尽力された方ばかりです。皆様方の戦争に対する怒りと悲しみが、無理解と不寛容を生む現在社会に貴重な示唆を与えたことではないでしょうか。

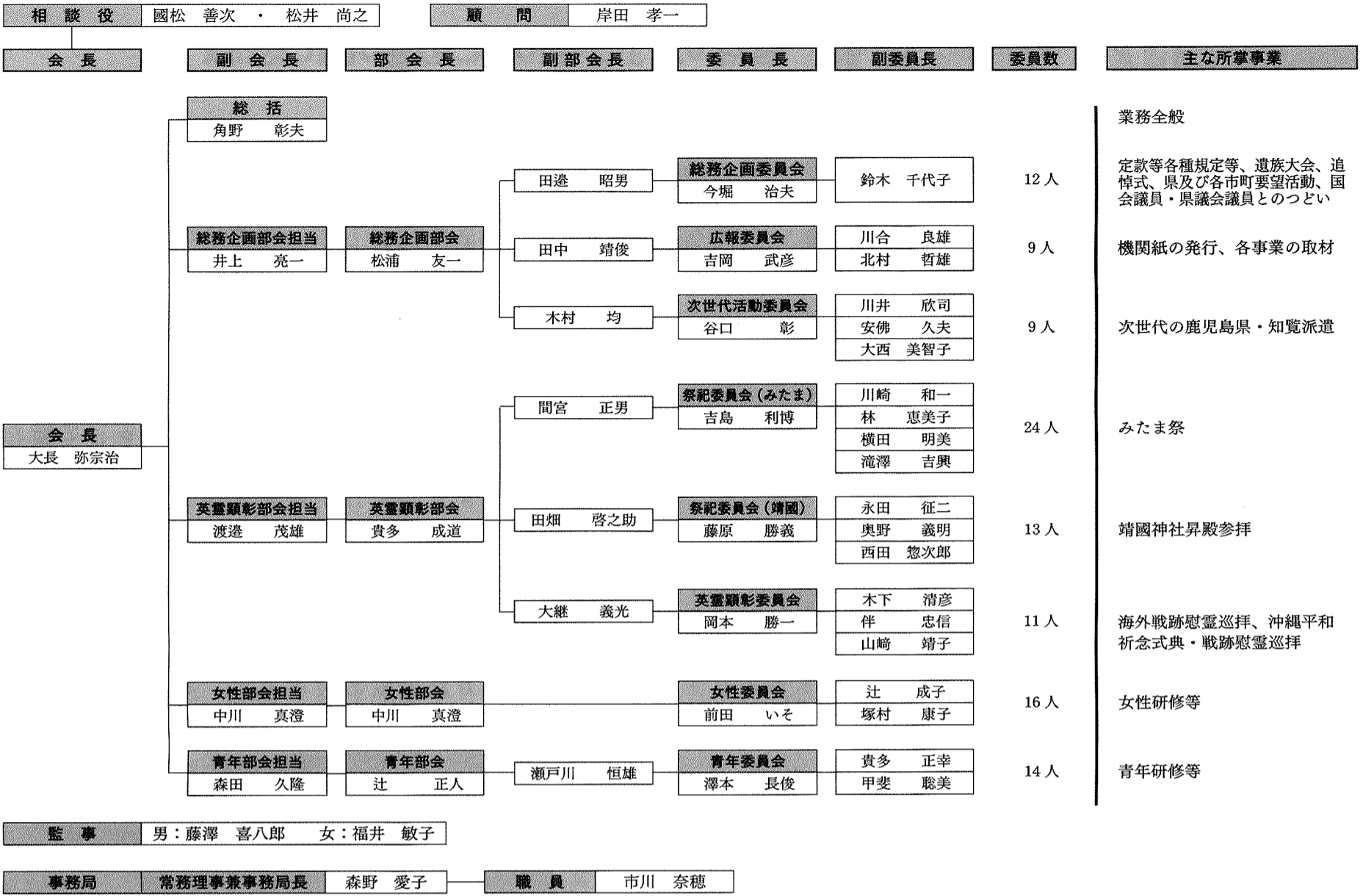
私たちが歩んだ道も昭和、平成そして令和へと過去の戦争を伴って遠くになります。戦争の痛みもまた同様です。戦争を忘れ、戦争を恐れず軽薄な物言いが勇ましくなっていく風潮を警戒します。平和な社会に生まれ、平和と豊かさを当たり前に享受する私たち孫世代には、父や祖母が直面した戦争の悲哀を語り継ぐことは容易なことでは

ありません。しかし、英霊の名譽を守るため、各先輩方の英知をいただきながら活動を続けて参ります。今後とも、遺族会にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

の願いをしっかりと受け止め、戦争の風化を防ぎ、平和な世の中にしていくことは、今に生きる私たちの責務であり、決して英霊顕彰の灯火を絶やしてはならないと思っております。

遺族会活動は、遺児会員の高齢化が進み、大変困難な時期であります。英霊顕彰を次世代にしっかりと繋げることが、今、私どもが目指す活動の基本であります。また、次世代活動に対する財政基盤を確立し、財政基金

令和2～3年度 滋賀県遺族会 組織図



滋賀県遺族会 役員名簿

評議員名簿 (任期：令和2年度～4年間)

市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名
大津市	佐敷 靖夫	甲賀市	大治 正雄	彦根市	北村 邦夫
	小林 俊造		西浦 富一		山本 起美郎
	西村 一夫		前田 貞雄		瀧澤 吉興
高島市	竹井 昌夫	近江八幡市	東野 廣司	長浜市	脇坂 博
	一井 久雄		杉浦 俊雄		木津 美智子
草津市	伴 忠信	東近江市	福島 睦一	米原市	木部 弘美
守山市	藤井 重機		田井中 正征		泉 峰一
	北川 正一		福島 和彦		豊郷町
栗東市	西田 為彦	日野町	瀬川 勲	甲良町	藤原 新祐
野洲市	永田 征二		奥野 義明	多賀町	小菅 正之
	湖南市	木村 和代	竜王町	西村 久一	
	谷 宗久	愛荘町	森野 久嗣		

理事名簿 (令和2～3年度)

ブロック	郡市名	氏名	役職名
1	大津市	田邊 昭男	総務企画部会副会長 (総務企画)
		田中 靖俊	総務企画部会副会長 (広報)
	高島市	角野 彰夫	総括副会長
2	草津市	本村 均	総務企画部会副会長 (次世代)
	栗東市	谷口 彰	次世代活動委員会委員長
	守山市	岡本 勝一	英霊顕彰委員会委員長
	野洲市	間宮 正男	英霊顕彰部会副会長 (祭祀・みたま)
	湖南市	大継 義光	英霊顕彰部会副会長 (英霊顕彰)
	甲賀市	田畑 啓之助	英霊顕彰部会副会長 (祭祀・靖國)
		渡邊 茂雄	英霊顕彰部会担当副会長
3	近江八幡市	井上 亮一	総務企画部会担当副会長
	東近江市	今堀 治夫	総務企画委員会委員長
		松浦 友一	総務企画部会長
	蒲生郡	貴多 成道	英霊顕彰部会長
愛知郡	吉岡 武彦	広報委員会委員長	
4	彦根市	吉島 利博	祭祀委員会 (みたま) 委員長
	長浜市	森田 久隆	青年部会担当副会長
		中川 真澄	女性部会担当副会長・女性部会長
	米原市	大長 弥宗治	会長
		瀬戸川 恒雄	青年部会副会長
	犬上郡	藤原 勝義	祭祀委員会 (靖國) 委員長
	青年部	辻 正人	青年部会長・日本遺族会青年代表
常務理事	森野 愛子	事務局長	

各郡市町遺族会 会長・女性部長・青年部長名簿 (令和2～3年度)

市町名	氏名		
	会長	女性部長	青年部長
大津市	服部 清和	廣井 まり子	辻 正人
高島市	竹井 昌夫	鈴木 和子	澤本 長俊
草津市	川井 欣司	塚村 康子	久保 博
守山市	山川 芳志郎	石井 ひろ子	—
栗東市	谷口 彰	高田 婦美子	甲斐 聡美
野洲市	東郷 重明	木村 和代	三久保 忠俊
湖南市	大継 義光	立入 美奈子	牧田 聡美
甲賀市	田畑 啓之助	青木 多津子	松下 泰也
近江八幡市	高木 健三	辻 成子	岡村 紀生
東近江市	松浦 友一	中澤 光子	辻 和雅
彦根市	吉島 利博	島路 トミ子	川崎 謙次
長浜市	西川 満	谷口 晋子	浅見 勝也
米原市	瀬戸川 恒雄	藤田 紀代	鈴木 則生
蒲生郡	西村 久一	古株 米子	—
(竜王町)	北川 一男	—	貴多 正幸
(日野町)	奥野 義明	—	村島 茂男
愛知郡	土田 幸夫	前田 いそ	久保田 正利
犬上郡	藤原 勝義	杉江 弘子	—
(豊郷町)	柳川 修一	—	—
(甲良町)	藤原 勝義	—	—
(多賀町)	山口 勲	—	—

タイ王国戦跡慰霊巡拝に参加して

管理の行き届いた慰霊地に感激

タイ王国戦跡慰霊巡拝 団長 山川 芳志郎



ワットムーサン寺院前で参加の皆さん

1月28日から6日間、タイ王国戦跡慰霊巡拝を実施しました。参加者は私たち遺族関係17人、来賓として生田邦夫滋賀県議会議長はじめ県議会議員8人と随行人員1人、添乗員1人の計27人の巡拝の旅でした。

今回は、タイ王国北部の都市チェンマイを中心とした5カ所で慰霊を行いました。特に印象に残ったことを報告させていただきます。

(1) 訪れた慰霊碑のある場所4カ所は、いずれも綺麗に管理されていました。最後の日はホテルの一室を借用しての合同慰霊式でしたが、さすが合同慰霊式と呼ぶにふさわしい良い式典でした。

(2) このたびは、8人もの県議会議員諸氏が同行くださり、県民を代表しての追悼のことばをいただきました。

(3) 1月31日、大変ご多用の中、チェンマイ・カトゥーエンの慰霊式に在チエンマイ日本国総領事館領事松本洋氏にご出席くださり、日本国を代表しての追悼のことばをいただきました。心温まる追悼のことばはきくと英霊に届いたと思います。

(4) 同じく1月31日、ビルマ方面戦病没者追悼の立派な碑が敷地内にあるチェンマイの学校を訪問しました。

① 校長先生を先頭に約50人の生徒諸君が来客をお迎えする作法としてきちっと整列し、各自両手を合わせてお迎えいただきました。その態度に感激しました。

② 碑のある周辺はきちっと草が刈られ、辺りの樹木も手入れがされており気持ちよくなりました。

③ 日本では政教分離の名のもとに公共の敷地内に宗教色の強い碑や碑文の設置、建立は認められませんが、ここでは校地内で慰霊式をするために椅子や机がきちっと並べられています。これら①②③

の態度、活動、考え方はきつと亡くなった英霊にも通じ、安らかに眠りにつかれています。私には海外戦跡慰霊巡拝について次のように考えます。

保育園の延長保育のお迎えでは、夕方から次へと家族が迎えに来ます。最後一人になる時があります。その子は寂しいと思います。保育士が相手をし、絵本の読み聞かせやおしゃべりをしてやっています。そこへ、入り口に母が迎えに来て来ます。母の姿を見つけると一目散に駆けつけ、そして母に飛びつきます。この子は必ず迎えに来てくれると信じて待っていたのです。微笑ましい風景です。場面を変えます。私の父や叔父、あるいは従軍看護婦は戦場で機関銃の弾に当たって死んだのか、食べるものがなく餓死したのか、あるいは病気で死んだのか、遠く離れた戦場で帰らぬ人となりました。きつと帰らなかったかと思えます。故郷に帰らなかったに違いありません。そしてきつと生きたかたに違いありません。

「呼びかけ」をして現状を知らせてくれると信じ待っていると、思うのです。当然ながら私たちに、父たちが亡くなった場所、誰にもありません。だから来年以降もこの海外戦跡慰霊巡拝は続くと、思います。

今回、世界的に新型コロナウイルス感染症が流行しており、列車や飛行機、飛行場など人の集まる場所での感染を心配して、おりましたが、無事終了することができました。周到な準備をいただきました関係者に感謝し報告いたします。

今般、令和元年度滋賀県遺族会タイ王国戦跡慰霊巡拝の一員として参加させていただきました。

タイ王国は中立国で、戦死者は少ないと聞いておりましたが、父が戦死したミャンマー(ビルマ)の隣国でもあり、今回参加させていただきました。感動いたしました。

「タイ・ビルマ方面戦病没者追悼の碑」建立秘話を読み、現地での日本兵の負

傷された銅人形が目に入った瞬間、私はくぎづけになりました。

ここが父の終焉の地で、私は同じ場所に立っている。私たち遺児は父の面影は一切知らないため、父親と対面し話している気分になりました。

ここで私は「呼びかけ」をさせていただきました。私は父の2倍半生かされております。私たちは

きつと息子や妻、あるいは誰かが必ずこの場所に会いに来てくれると信じ待っています。

「終焉の地で父親と対話する気分」

東近江市遺族会 松浦 友一



ワットムーサンでの慰霊法要

「呼びかけ」をして現状を知らせてくれると信じ待っていると、思うのです。当然ながら私たちに、父たちが亡くなった場所、誰にもありません。だから来年以降もこの海外戦跡慰霊巡拝は続くと、思います。

今回、世界的に新型コロナウイルス感染症が流行しており、列車や飛行機、飛行場など人の集まる場所での感染を心配して、おりましたが、無事終了することができました。周到な準備をいただきました関係者に感謝し報告いたします。



タイ日友好記念館屋外の慰霊碑前で慰霊法要

今回の戦跡慰霊巡拝は、私も委員の一人として企画に加わった。議論の中で、「タイは中立国だったので戦闘は行われていない、そんな所へ何故行くのか」という意見が少なからずあった。しかし、この国には「泰緬鉄道」という悲しい歴史がある。日本軍がインパール作戦の物資輸送のため、タイ・ビルマ間に建設した鉄道で、連合軍捕虜や現地人数十万人が動員され、過酷な労働環境や熱帯病で数万人が亡くなりました。

「死の鉄道」と呼ばれた。

昭和19年以降、日本軍に敗戦色が濃くなると、バンコクへの空襲は奇烈さを増した。

関西国際空港からの出発はタイ航空の二階建て飛行機で、離陸時にも揺れないし上空でも気流に影響されないので実に快適であった。タイ北部の空はスモッグが濃い。焼き畑やそ

れに伴う山火事が原因らしい。上空から眺めても下界がすすんで見える。

メーホンソンの町から更に辺地へ向かって、田舎道や穏やかな山道を車で約80分間移動したが、その国道の綺麗なことに驚いた。普通の2車線であるが、車がコトコトと揺れない。この辺りの山道を75年前には日本の兵隊さん(傷病兵ばかり)がミャンマーのモチからチェンマイへチェンマイへと歩いたのだ。

そしてついに、行き倒れ、野晒し、「白骨街道」となった。その数8000とも1万8000とも言われ、正確な数字は分からない。でも事実なのだ。帰還兵の証言がある。そして、田舎の道はたに戦友の建てた慰霊碑が現存する。

今回の慰霊巡拝で一番印象に残ったのは、やはりあの山岳少数民族の中学校の敷地内で行われた慰霊祭だ。学校挙げての協力体制や平日頃の慰霊碑周辺の管理、何よりも戦没者に対する礼節の大切さ、ここまで来て大切なことを教えていただいた。「ありがとう」。

この学校を見るにつけ、教育の大切さがしみじみと分かった。

「終焉の地で父親と対話する気分」

東近江市遺族会 松浦 友一

傷病兵の白骨街道で慰霊

英霊顕彰委員会 副委員長 木下 清彦

し、日本軍関連施設等が爆撃目標とされ、破壊され、また多くの死傷者が出た。今回訪問した北西部のビルマ国境近くでは傷病兵ばかりが「チェンマイへ逃げろ」と、ジャングルの間道へ放り出された。結果は火を見るよりも明らかで、ほとんどの日本兵が飢えと病に倒れた。この人たちを放っておけようかと、今回の慰霊巡拝参加となった。

関西国際空港からの出発はタイ航空の二階建て飛行機で、離陸時にも揺れないし上空でも気流に影響されないので実に快適であった。タイ北部の空はスモッグが濃い。焼き畑やそ

令和元年度 知事表彰被表彰者

氏名	市町名
木村 正昭	草津市
松浦 友一	東近江市
渡邊 茂雄	甲賀市
大西 美智子	愛荘町
三田 俊雄	長浜市

令和元年度 滋賀県遺族会会長表彰被表彰者

氏名	市町名	氏名	市町名
縣 實	大津市	平井 康博	東近江市
田中 博	大津市	岡田 悦次	東近江市
溝上 正直	大津市	野村 充美	東近江市
林 義彦	栗東市	瀬川 勲	日野町
小西 孝司	守山市	小杉 儀太郎	愛荘町
川波 慶一	野洲市	夏川 嘉一郎	彦根市
橋本 彌壽雄	野洲市	中川 靖夫	彦根市
増田 友信	甲賀市	林 正作	長浜市
山田 光治	甲賀市	山根 富士子	長浜市
中村 武治	湖南市	北村 哲雄	米原市
矢倉 敬一	近江八幡市	久木 淳行	豊郷町
北川 善二郎	近江八幡市	辻 正人	大津市

令和元年度滋賀県戦没者遺族大会において、戦没者遺族に對する援護事業に貢献された方々が、知事表彰(5人)、滋賀県遺族会会長表彰(24人)を受賞されました。

私は、遺族会に入ってから50年以上になります。昭和46年、山田利治元会長、板垣征四郎陸軍大将のご息板垣正様と全国から集まった39人の仲間と共に、本土防衛の最前線であったマリアナ諸島の遺骨収集に参加しました。そして、その惨状を見て帰国時に官房副長官であった山下元利先生の仲介で田中角栄首相に直訴することがで

きました。その結果、遺骨収集は国の手で再び行われるようになりましたが、未だに多くの遺骨が未帰還である現状は誠に許しがたいことであると思います。日本遺族会が組織の総力をあげて政府機関に強く要望されてきた結果がこのような状態です。次世代を託す青年部会もまだまだ少人数で先行きが心配です。今できることは、

各家庭で同居の家族に入会してもらう運動が大事であると思います。英霊顕彰を外に向けてやってきた間に、家庭での顕彰ができていなかったのではないかと、自身反省しています。戦争の代償は余りに大きすぎます。二度と再び我々のような戦争遺児を作らないために、平和な社会が続くよう努力しなければならぬと思います。

随想 会員確保のために何が大切か

東近江市遺族会 福島 睦一

滋賀県護國神社春季例大祭



多賀大社舞姫による「浦安の舞」

桜花爛漫の4月5日、滋賀県護國神社春季例大祭が厳粛に斎行された。今回は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛や各郡市町が三密を避けるためバスの運行を見合わせたことにより、参列者は約100人と大幅な減少となった。来賓席やテント内の椅子は間隔を置いて置かれ、境内に入るときは手のアルコール消毒が励行された。

神事は午前10時に開始。山本賢司宮司の御霊をお慰めする祝詞奏上に始まり、神社本庁からの献幣使が祝詞を述べられた。

祭典では滋賀県遺族会青年部を代表して、澤本長俊青年委員会委員長がお茶を献納した。次世代を担う孫世代からの真心のこもった抹茶を飲まれ、英霊もさぞかし喜ばれたことと思う。

大長弥宗治滋賀県遺族会会長は「英霊が尊い命を捧げていただいたその心をしっかりと受け止めて、平和の尊さを次の世代に繋いでいくことが、人生残り少ない私たち戦没者遺児に課せられた責任である」と祭文を奏上。

続いて、多賀大社舞姫による世の太平を祈る「浦安の舞」が奉奏され、参列者一同

ひとときの神事を堪能した。次に、来賓、関係者による玉串奉奠が行われた。最後に山本宮司は「厳しい世情の中ご参列いただいたことに心から厚くお礼申し上げます」と述べられ、「コロナウイルスの災いで、祭は中止ではないかと問い合わせがあった。しかし、イベントの祭ではないので、神社の大祭はそれぞれ地域の中で先祖が営々と築いて、生きてきた証としての鎮守の宮の祭であるから簡単に中止するものではない。明治の創建以来中止したことはない。

日本は敗戦を乗り越えて、多くの災害の時も我々の英知を集めて乗り越えてきた。今回も紛争もなくなることを切に願う。

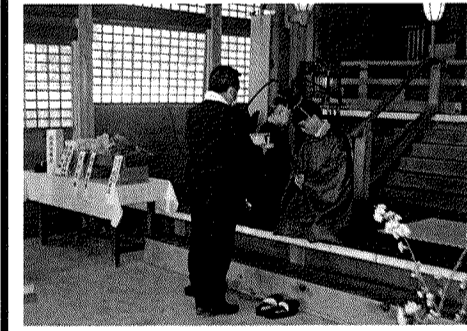
お国のためと戦争の地へ向かわれ、亡くなられた皆様、英霊の方々、どうぞ安らかに眠りください。主人の祖父、私の祖父、共に戦死と聞いております。二人とも、安らかに眠ってくださいね。また来ます。(長浜市Kさん女性)

この春は、新型コロナウイルスの感染拡大により、神社への参拝にも大きな影響がありました。来館者も大きく減少しました。今後は、一刻も早い終息と日常の生活に戻るよう願うばかりです。(彦根市遺族会 原 幸男)

令和2年度 滋賀県遺族会の主要事業計画

時期	事業名	備考
4月5日	滋賀県護國神社春季例大祭	滋賀県護國神社
5月20日	理事会、評議員会	書面決議
6月13日~15日	神繩「近江の塔」平和祈念戦没者追悼式	中止
6月22日~24日	第59回神繩平和祈願慰霊大行進	中止
7月~令和3年3月	海外戦跡慰霊巡拝	パプアニューギニア フィリピン
8月13日~15日	第44回みたま祭	滋賀県護國神社
8月15日	全国戦没者追悼式参列(政府主催)	日本武道館
8月29日	平和祈念・県下戦没者追悼式(滋賀県主催)	滋賀県立文化産業交流会館
9月10日~11日	第3ブロック会議	新都ホテル(京都)
9月中旬	皇子山陸軍墓地慰霊碑の彼岸法要	大津市皇子山
	滋賀県戦没者英霊塔の彼岸法要	膳所公園
	理事会	滋賀県遺族会館
10月5日	滋賀県護國神社秋季例大祭	滋賀県護國神社
10月17日~18日	第3回青年部会研修会	京都(伏見・舞鶴)方面
10月24日	滋賀県戦没者遺族大会	滋賀県立文化産業交流会館

時期	事業名	備考
10月29日	女性部研修会	滋賀県立男女共同参画センター
12月上・中旬	日本遺族会戦没者遺族大会と国会議員陳情運動	自由民主党館 他
12月19日	理事会	滋賀県遺族会館
	合同会議、国会議員・県議会議員とのつどい	未定
12月31日~令和3年1月1日	除夜祭、元旦祭	滋賀県護國神社
1月8日	新年祈願祭	滋賀県護國神社
3月7日~8日	第47回靖國神社昇殿参拝旅行	靖國神社 他
3月中・下旬	理事会	滋賀県遺族会館
3月26日~28日	第20回次世代戦跡訪問研修事業	鹿児島県知覧 他
	滋賀県戦没者英霊塔月並法要	膳所公園
	正副会長会議	滋賀県遺族会館
毎月15日	適時	県各市町要望活動
適時	適時	各市町遺族会会長会議
年3回	「遺族の友」発行(6月、10月、1月)	
適時	適時	海外戦跡慰霊巡拝写真展



お茶を献納する澤本長俊青年委員会委員長

回りのコロナウイルスの災いも皆様方の英知で克服願いたい。本日は、せめて満開の桜をご観賞いただき、無事にお家へお帰りいただきたい」と結び、コロナ禍の中の神事は滞りなく終了した。(広報 川合良雄)

たいごひなみ

甲南町寺庄区主催平和祈願戦没者追悼式典

甲南町遺族会 大治 正雄

先の大戦終結後75年を迎えた1月12日、甲南町寺庄区主催の戦没者追悼式典が執り行われ、遺族会が主催



寺庄区主催の平和祈願戦没者追悼式

して追悼法要を菩提寺で行ってきまして、会員世代の交代、高齢化により参列者も減少し、今後の運営を考えていくと、追悼式のあり方を考え直すときが来ていました。令和元年度になり、戦争の悲惨さと平和社会づくりへの寺庄区長様の篤いご理解と区民皆様のご賛同により、区主催の平和祈願戦没者追悼式となりました。当日は、区の関係諸団体の皆様のご参列のもと盛大に開催されました。区長様より「現在を生きる我々への強い警鐘と諸英霊への追悼」の式辞に始まり、引き続き甲南町と寺庄区遺族会長の追悼のことがありまして、その後、中学生3人が平

和学習で感じたことや修学旅行での沖縄体験感想文の発表もあり、誠に意義深い式典となりました。余談になりますが、甲南町立甲南中学校では毎年の体育祭で平和行進があり、「ヘイワ」の人文字をグラウンドいっぱいにはり広げ、先輩が始めた平和活動が60余年連続と引き継がれてきています。式典の終わりに参列者全員が祭壇に献花し、戦没者の追悼と平和社会づくりへの誓いを新たにいたしました。このように一地区の平和への取り組みが、次世代へと繋がれていく式典となることをお願いして閉式となりました。閉式の後、遺族会員は菩提寺と墓地での法要、参拝を行い追悼の一日を無事終えることができました。区長様はじめ関係各位に対し重ねてお礼申し上げます。

お別れ

彦根市遺族会 出口素子

遺児の方がまた一人、お父様の元へ旅立たれました。生前に二度の戦跡慰霊巡拝（サイパン）に参加され、そのお気持ちもいつもご家族にお話しになっていたのでしょうか。奥様のお礼の言葉から伺うことができ、悲しみがこみ上げて参ります。

私は、今は亡き杉本義男様とは母方のいとこにあたり、戦跡慰霊巡拝（東部ニューギニア・ラバウル）にも参加させていただきました。ここに奥様のお言葉を紹介させていただきます、あらためてご冥福をお祈りいたします。

最愛の両親のもとでどうか

私たちが生まれ育った時代というのは、まさに戦中・戦後の頃でした。多くの人が大事な家族との別れを迎える中、夫もまた父親の顔を一度も見ることができなかつたそうです。互いの存在を知りつつもふれあうことのできない悲しみを、夫は人一倍感じていたのでしょう。慰霊祭へ足を運ぶことにより、心の中で父親に何度も語りかけ、「今度は家族を連れてくる」と約束したのでした。しかし、残念ながら体調を崩し、願いは叶わぬままとなつてしまいました。そんな夫へ今私たちにできるのは、遺志を受け継ぎ慰霊祭へ

参加することでしょうか。ご縁を大事にして、家族のために頑張ってくれた夫にはどうかこれからも幸せであってほしいというのが願いです。女手一つで育ててくれた母親、そして一番会いたかったであろう父親。三人で話に花を咲かせ、ゆつくり休んでくれるのならそれが何よりの慰めです。可愛がっていた孫達のことにも心配しているでしょうから、成長と活躍を楽しみに、いつまでも見守っていてほしいと願います。

杉本 廻子

就任のごあいさつ



常務理事兼事務局長 森野 愛子

この度の役員改選により、理事兼事務局長に就任いたしました。遺族会のことを何も分からないうちに、3年5カ月が経ちました。その間、各事業に出来るだけ参加して勉強させていただきました。まだまだ勉強不足の所はありますが、このたびの重責を深く受け止めて、本会の使命達成のため、最善の努力をして参りますのでよろしくお願い申し上げます。今は亡き私の父も戦争に行き、最後は満州で強制労働を受けた一人でした。運良く室内での労働であったため、生きて帰りました。外での労働だったらとくに死んでいたでしょう。寒さと飢えと辛さで多くの友が亡くなったと、寂しそうに話していたのを覚えています。また、今年98歳になった母親

も「若い頃の思い出、そんなものない。『戦争』だ」と言います。広島に原爆が投下された日、たまたま外にいたようで、西の空に閃光が走り、それと同時に見たこともない真っ黒な雲が覆いかぶさるようになつたのを見て、それは恐ろしかったと言います。後に原爆が落とされたことを知り、次はどこに、と言葉にならなかつたそうです。いつ終わるか分からないのが「戦争」、みんなを不幸にするのが「戦争」だと、虚しいうに言います。

今回の事務局は3人体制から2人体制になり、ご不便をおかけすることがあるかも知れませんが、誠心誠意対応させていただきますので、皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

忘れずに請求しましょう

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金のご案内 (第11回特別弔慰金)

- 制度の概要

今日の日本の平和と繁栄の礎となった戦没者等の貴い犠牲に思いをいたし、国として改めて弔慰の意を表すため、戦没者等のご遺族に特別弔慰金を支給します。
- 支給対象者

令和2年4月1日（基準日）時点で、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方（戦没者等の妻や父母）がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に支給します。

戦没者死亡当時のご遺族で

 1. 令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
 2. 戦没者等の子
 3. 戦没者等の ① 父母 ② 孫 ③ 祖父母 ④ 兄弟姉妹

※戦没者等の死亡当時、生計関係を有している等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。
 4. 上記1～3以外の戦没者等の三親等内の親族（甥、姪等）

※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。
- 支給内容

額面25万円、5年償還の記名国債
- 請求期間

令和2年4月1日から令和5年3月31日まで

※この期間を過ぎると請求できなくなりますのでご注意ください。
- 請求窓口

お住まいの市町の援護担当課
- 留意事項

特別弔慰金は、ご遺族を代表するお一人が受け取るものです。ご遺族間の調整は、記名国債を受け取った方が責任を持って行うこととなります。
- ◇請求手続きの簡素化のため「同意書」を廃止しました。

※詳しくは厚生労働省ホームページ <http://www.mhlw.go.jp> をご覧ください。
- 請求手続きなど詳しくは、お住まいの市町の援護担当課または滋賀県健康福祉課 (077-28-3514) にお問い合わせください。

